

「今週の1枚」



チヂミザサ （イネ科）

暖温帯から冷温帯のやや湿った林床に生育する1年生の草本。自然林には少なく、人工林とくにスギ林の林床に多い。葉がササに似ていて葉縁にしわができることからこの名前がついた。写真は果実が熟した穂の一部、長い禾（のぎ）は表面が粘り、衣服に付着しやすい。この季節にスギ林の調査をすると、ひざから下びっしりとチヂミザサの果実が付き、種子を散布する役になる。花軸や葉に毛が多いものをケチヂミザサという、写真は毛が少ないコチヂミザサにあたる。（埴田）

（No. 71 2002. 10. 15 掲載）

Oplismenus undulatifolius (Arduino) Roemer et Schultes (Poaceae)

Annual grass, prefer to the floor of man-made forest, especially sugi (*Cryptomeria japonica*) stands, in warm- and cool-temperate zones.